

## 事業実績報告書

様式 2  
(2021年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-49	講座名	ネイチャーランニング森のなかPLUS
記載日		団体名・企業名	りとらば
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>・都市近郊の森を使い、颯爽と駆けることでしか味わえない森の魅力を知る。これからの自然との関わり方を考える。</p> <p>・焚き火を通して、エネルギーや里山利用について考える機会とする。</p> <p>・山でのリスクをどう回避するかを学びながら、宿泊することで他者との違いを認め合う。</p> <p>以上の内容を各回に織り込みながら、森を走るといふ小さな旅を通して深く共感しあいました。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
10/17東谷山(守山区)～定光寺 エマージェンシーシートでビバーク体験		11/6犬山市野外活動センター～鳩吹山 森を颯爽と駆けおる	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>日頃から走る習慣のある人を対象としました。だからこそ走ることばかりでなく、焚き火を通して森の恵みを楽しんだり、地形や森の資源を利用してサバイバル体験をしたり、野外炊飯を通して自然と触れ合いながら仲間と親睦を深めたりと、走りに終始しない工夫をしました。普段、街なかの道路しか走っていない人にとっては、森を走ることだけで異次元体験であり、走った後は一様に「気持ちいい」と言ってくれました。焚き火を通して人と森との関わり合いや、人が手を入れなくなってしまった今の森の荒れ方を見て感じて、これからの付き合いかたを考える機会となりました。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き缶炊飯など、災害時にも役立つ体験ができ良かったです。</li> <li>・初めて山を走る経験をし、すごく大変でしたが達成感は大きかったです。</li> <li>・自然を満喫しながら山を走ることができました。</li> <li>・どんな地形がビバークに適しているかなど、森をじっくりと見ることができました。</li> <li>・寝転がって樹冠を見ると、その雄大さや美しさに圧倒されました。</li> <li>・森林資源の利用は大切だと思う。</li> </ul>			